

(特非) 循環生活研究所

「ローカルフードサイクリング美和台」で 目指す持続可能な共助社会

活動地域  福岡県福岡市



堆肥を使った菜園講座の講師と参加住民

課題

対象地区は高齢化が進みコミュニケーションが希薄化。コンポスト継続も困難な方が増え、これまで循環していた住民の生ごみがふたたび廃棄物となり焼却場へ行っている。

目標

食の資源循環（コミュニティコンポストを軸とした栄養循環のしくみ：LFC）が地域で定着し、地域住民の共助のしくみで実行される。



今後の
展望

コンポストのニーズは高まり普及も進んでいるが、より加速させるには気軽に参加できコミュニティで継続を支える仕組みが必要だ。事業が自立して持続可能に実施できるよう、住民・地域・NPOの連携を強化していく。

活動内容と成果

住民自主活動によって環境と福祉・健康の同時解決をしながら、持続可能な共助社会を目指し地域自治組織とNPO、行政が協働で生ごみ・落ち葉などの身近な有機資源を堆肥にすることで食につながる循環システム（LOCAL FOOD CYCLING：LFC）を実施している。

コミュニティコンポストでは住民が自宅でダンボールコンポストに取り組み、スタッフが巡回してお手入れすることで継続をサポートした。また、同時に高齢者の見守りも行った。できた堆肥を活用する畑も新たに確保し、野菜を地域に出荷して栄養を循環させた。



地域住民にコンポストをお届けするスタッフ

ひろげる助成

2年目

実践

会員世帯
(3月31日時点)

48軒

コンポスト設置

82軒

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

49%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスで地域イベントや活動が制限されたことも影響し、会員獲得数が少なかった。また外部視察も断念せざるを得なかった。

■ 工夫した点

チラシ配布や様々な年代向けの講座を企画し、新規会員獲得や自立型のコンポストユーザー獲得を試みた。

〒811-0201
福岡県福岡市東区三苫4-4-27

電話：092-405-5217

E-mail：info@jun-namaken.com

HP：https://www.jun-namaken.com/

